

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和2年1月16日(2020.1.16)

【公開番号】特開2019-202010(P2019-202010A)

【公開日】令和1年11月28日(2019.11.28)

【年通号数】公開・登録公報2019-048

【出願番号】特願2018-100111(P2018-100111)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和1年11月22日(2019.11.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技価値を付与可能な付与手段を備える遊技機であって、

遊技機における遊技の進行を制御する遊技制御手段と、

設定値に応じた特定制御を実行可能な特定制御手段と、

設定値を変更可能な設定変更モードに制御可能な設定変更モード制御手段と、

当該遊技機に対応した遊技機枠及び扉枠の少なくとも一方が開放された開放状態を検出可能な開放状態検出手段と、

遊技媒体が特定領域を通過したときに所定の大きさの遊技価値を付与するための特定処理を実行可能な特定処理手段と、

前記特定処理に基づく遊技価値の付与が完了する前に電断が発生した場合に、付与が完了していない遊技価値の大きさを記憶する記憶手段と、を備え、

前記設定変更モードに制御されている場合と前記設定変更モードに制御されていない場合とで、前記開放状態が検出されたときに、遊技価値の付与が制限され、

前記設定変更モードに制御されている場合に、遊技媒体が前記特定領域を通過したときに前記特定処理を実行せず、

当該遊技機への電力供給が開始された場合に、

前記開放状態が検出されているときに前記設定変更モードに制御可能であり、

前記記憶手段に記憶されている遊技価値の大きさに基づいて遊技価値を付与可能であり、

前記付与手段は、前記遊技制御手段から特別信号が入力されたときに遊技媒体の付与が可能である、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

(A) 本願発明に係る遊技機は、

遊技価値を付与可能な付与手段を備える遊技機であって、

前記遊技機における遊技の進行を制御する遊技制御手段（遊技制御用タイマ割込処理を実行する遊技制御用マイクロコンピュータ100）と、

遊技価値（パチンコ玉）を付与可能な付与手段（払出モータ21TM289を制御する払出制御用マイクロコンピュータ21TM370）を備える遊技機（パチンコ遊技機1）であって、

設定値（大当たり判定用乱数の範囲が異なる設定値1～6）に応じた特定制御（特別回柄プロセス処理における大当たり判定処理等）を実行可能な特定制御手段（ステップS21TM1690等の処理を実行する遊技制御用マイクロコンピュータ100）と、

設定値を変更可能な設定変更モードに制御可能な設定変更モード制御手段（ステップS21TM3540～ステップS21TM3600を実行可能な遊技制御用マイクロコンピュータ100）と、

当該遊技機に対応した遊技機枠（遊技機用枠3）及び扉枠（ガラス扉枠3a）の少なくとも一方（例えば、遊技機用枠3）が開放された開放状態を検出可能な開放状態検出手段（遊技機用枠3が開放状態となっていることを検出可能な遊技機枠開放センサ、ガラス扉枠3aが開放状態となっていることを検出可能な扉枠開放センサ、を備えた遊技機枠・扉枠開放センサ21TM300を有する払出制御用マイクロコンピュータ21TM370）と、

遊技媒体が特定領域を通過したときに所定の大きさの遊技価値を付与するための特定処理を実行可能な特定処理手段と、

前記特定処理に基づく遊技価値の付与が完了する前に電断が発生した場合に、付与が完了していない遊技価値の大きさを記憶する記憶手段と、を備え、

前記設定変更モードに制御されている場合と前記設定変更モードに制御されていない場合とで、前記開放状態が検出されたときに、遊技価値の付与が制限され（遊技機用枠3が開放状態となっているとき、ガラス扉枠3aが開放状態となっているときには、払出制御用マイクロコンピュータ21TM370が、払出モータ21TM289を駆動しないことにより、球貸処理及び賞球処理における遊技媒体の払出を実行しない）、

前記設定変更モードに制御されている場合に、遊技媒体が前記特定領域を通過したときに前記特定処理を実行せず、

当該遊技機への電力供給が開始された場合に、

前記開放状態が検出されているときに前記設定変更モードに制御可能であり、

前記記憶手段に記憶されている遊技価値の大きさに基づいて遊技価値を付与可能であり、

前記付与手段（払出制御用マイクロコンピュータ21TM370）は、前記遊技制御手段から特別信号（接続確認信号）が入力されたときに遊技媒体の付与が可能である、ことを特徴とする。

このような構成によれば、設定変更モードに制御されているときに、遊技価値の付与に関する適切な制御を実行することができる。

（1）他の態様に係る遊技機は、

遊技者にとって有利な有利状態（例えば大当たり遊技状態）に制御可能な遊技機（例えばパチンコ遊技機1）であって、

前記有利状態に制御されることを示唆する示唆演出（例えばリーチ演出）を実行可能な示唆演出実行手段（例えば演出制御用CPU120）と、

前記示唆演出に対応したタイトルを報知可能なタイトル報知手段（例えば演出制御用CPU120）と、を備え、

前記タイトル報知手段は、前記示唆演出の開始から所定期間経過したときに当該示唆演出に対応したタイトルを報知可能である（例えば図8-2(D)、(F)）。

このような構成によれば、演出効果を高めることができる。